4月30日(月)

神は不信仰を見抜かれる

聖書朗読 マタイ 23:29~39

主は、ある人たちがおそいと思っているように、その約束のことを遅らせておられるではありません。かえって、あなたがたに対して忍耐深くあられるのであって、ひとりでも滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。 IIペテロ 3:9

あなたが、愛する人たちと、価値ある何かを分け合おうとして、その人たちがそれに何の興味もないとわかっただけだったら、それは何とさびしいことでしょうか？ 彼らはあなたとの友情を維持したいかもしれませんが、しかし、彼らは、あなたが提供する真の友人関係から生まれる利益が欲しくはないのです。そうした友人関係は、受け入れることが難しいでしょう。

神様は、ご自分が創造し、熱意をこめて祝福された生命からの拒絶を経験されています。私たちは神様からの提供に対し、さまざまな言い訳で応えています。「たぶん後で」、「あなたが助けることができるとは思わない」、「今現在すべてはうまくいっているので、ありがたいけれど結構です」。

エルサレムについての嘆きのなかで、イエス様は言っています。『わたしは、めんどりがひなを翼の下に集めるように、あなたの子らを幾たび集めようとしたことか。それなのに、あなたがたはそれを好まなかった。』（マタイ 23:37）

拒絶にもかかわらず、神様はご自分を拒否する人々を愛し続け、彼らの信仰をご自分のもとへと呼んでいます。何と神様の愛はすばらしいのでしょうか！

*神の救しは、希望のない過去から、
勇気ある現在に渡されてきた数多くの橋の土台である。
—— ジョージ・アダム・スミス*

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

聖歌 218

祈り 主よ。あなたの長い苦しみを感謝します。あなたを日々拒絶し続ける人々を愛するために、私たちの決意を強めてください。

イエス様の御名において。アーメン。

ジム・アンダーソン
テネシー州 ナッシュビル

御茶の水キリストの教会

今日の日

2018年4月30日～5月6日

翻訳 ゲラ弘美

編集 岩田欣三

5月1日(火)

逃がしてはいけない平安

聖書朗読 ヨハネの黙示録 14:9~13

どうか、私たちの主イエス・キリストと、私たちの父なる神、すなわち、私たちを愛し、恵みによって永遠の慰めとすばらしい望みとを与えてくださった方ご自身が、あらゆる良いわざとことばとに進むよう、あなたがたの心を慰め、強めてくださいますように。

Ⅱテサロニケ 2:16~17

クリスチャンの平安とはどんなもので、どうやって得るのでしょうか。クリスチャンに与えられる平安とは、神と和解し、毎日神の意志にますます従うように成長することです。神はこの平安を約束していますが、逃がす危険や、得ることに失敗することがあります。

遠い昔、イスラエルの民は神の平安を得ることができませんでした。神は、イスラエルの民を約束の地へ、荒野の中を何年も導きました。ヨシュアとカレブには信仰と約束の地に入る勇気がありました。しかし、イスラエルの民は臆病なスパイの言葉に耳を傾けました。この民は、楽しむことができたかもしれない平安に入ることができませんでした。神への信仰がなかったからです。神が目前にある困難から導き出してくれることを、イスラエルの民は信じませんでした。

イスラエルの民には自信と信仰が欠けていました。

神は自分の子ども達に平安を約束します。神の約束は今日でも極めて確実です。神の子として、信頼、信仰、そして自信を大きくしましょう。そうすれば、平安が今から永遠に訪れます。

讃美歌 第二編 223

祈り お父様。毎日私たちの命にお父様だけが与えることができる平安を、私たちが信じられますように。

イエス様の御名により。アーメン。

グレンダ・ラヴァネリ
テキサス州 アビリン

5月2日(水)

失望した時どうしますか

聖書朗読 創世記 29:19~30

私は苦難の日にあなたを呼び求めます。あなたが答えてくださるからです。

詩篇 86:7

ヤコブにとって最高の日が来しました。結婚式が行われます。ヤコブは愛するラケルと結婚するために7年間働いてきました。

結婚式が終わると、ヤコブはベールに覆われた花嫁を暗い新婚のテントに連れて行きました。花嫁がラケルだと思っていたのです。

朝日の中でヤコブが知ったことは、驚いたことに、初夜を共にしたのがラケルでなかったことです。姉のレアでした。ヤコブがラバンに怒鳴っているのを聞いて、レアが感じた屈辱はどれくらいだったのでしょうか。ラバンがだましたので、ヤコブはさらに7年間働く羽目になりました。1週間後、ようやくヤコブはラケルと結ばれました。ヤコブ、ラケル、そしてレアを襲った失望はとてつもないものでした。

ヘレン・スタイナー・ライスは、信仰を詩に表して広く知られていますが、失望がどんなものかを知っていました。夫は金持ちでしたが、1929年に株式市場が暴落した際に財産を失いました。そして、生きる望みを失って自殺しました。この悲劇の後、ヘレンは悲しみを乗り越え、信仰を詩に表しました。この詩によって恵みを何百万倍も受けてきました。あなたなら、このように失望した時どうしますか。失望は悪魔の道具になります。しかし、神様が介入して力とご自身を示す機会にもなります。神様の善意にとどまりましょう。

聖歌 347

祈り 親愛するお父様。困難や失望によって自分が強くなれますように。失望して気を取乱した時、周りの人を傷つけることがありませんように。

イエス様の御名により。アーメン。

フリーダ・フラートン
カリフォルニア州 アナハイム

5月3日 (木)

すべてにおいて神を賛美する

聖書朗読 詩篇 34 編

私はあらゆる時に主をほめたたえる。私の口には、いつも、主への賛美がある。
詩篇 34:1

神様を賛美することは、神様によって私たちに与えられた贈り物の一つです。ダビデは詩篇を通してずっと神様を賛美しています。彼は、『私はあらゆる時に主をほめたたえる。』(詩篇 34:1)と言っています。たとえ何が起っても——良いことでも悪いことでも。私たちが困難のなかにいるとき、神様は私たちの叫びをお聞きになり、そこから救い出してください。ご自分の天使たちに、私たちに救いに行くように、ご命令になることさえあります。

私たちは、あらゆる環境において、神様を賛美しなければなりません。財政が破滅している時もうまくいっている時も、試練の時も祝福の時も、夫婦仲が良い時も悪い時も、私たちは神様をたたえる必要があります。でも、一番神様をたたえる必要があるときに、私たちは神様をたたえることを忘れてしまいます。

誰が私たちに全てのものを与え、それを喜ばれているのか、思い出してみましよう。それは祝福してくださる方であり、私たちの神様なのです。私たちが試練や恵みのなかで神様を賛美しないなら、人生に消極的な重みしか感じていないということになるでしょう。そして魂はつらい報いを受けるでしょう。さあ、いつでもすべてにおいて主を声高く賛美しましょう。

*神様を賛美しつづけるにはスタミナが必要。
賛美したい気持ちがおこらなくても、神様を賛美すべき。
賛美すれば、憂鬱な気持ちから離れ、普通の状態にもどれるから。*

—————H. リンドセル

讚美歌 第二編 25

祈り 親愛なるお父様。あなたのしもべダビデがしたように、あなたを賛美することを助けてください。たとえ、どんな状況にあっても、あなたをいつでも賛美するように助けてください。

イエス様の御名において。アーメン。

ララ・アンダース・レイノルズ
テキサス州 グラッドウォーター

5月4日 (金)

神様の赦しによって生きなさい

聖書朗読 詩篇 130 編

あなたのような神が、ほかにあるでしょうか。あなたは、咎を赦し、ご自分のものである残りの者のために、そむきの罪を見過ごされ、怒りをいつまでも持ち続けず、いつくしみを喜ばれるからです。
ミカ 7:18

二人の隣人の中で意見が食い違った時、数か月の間その二人は口をききませんでした。仲たがいの理由は、一方がもう片方の塀を壊したとか、初めてケンカしたとかいうものではありません。それは、犬についての意見の相違からでした。

不安定なことがらは、腐っていくごみよりもさらに悪くなるものです。悲しいことに、苦い感情は私たちの生活のほかの部分にも侵入していきます。そして、私たちは満ち足りた生活を続けることができなくなってしまいます。

サタンは、私たちが自分たちの失敗を気にしている状態が好きなのです。そうになると、私たちは困った状態になり、神様が私たちの人生のために意図されているような進歩をすることができません。サタンは、私たちが過去の過ちを引きずり、そこからぬけられず、そこに時間や精力をつかっている状態を好んでいるのです。

詩篇の著者は、おかしした罪の深さから抜け出て、人は赦されるという神様の正しい視点を思い出しています。なぜなら神様は、赦しをあたえる権威であり、また赦しを与えることを熱望している方だからです。感謝をもって神様に近づきましょう。そして神様を信頼し、神様の赦しによって生きましょう。

*クリスチャンは、腹を立てるより赦すほうが安上がりなことを知っている。
赦しは怒りの費用と、憎しみの経費と、精神の無駄を節約する。*

—————ハンナ・モア

讚美歌 258

祈り 私たちのお父様。あなたが喜びをもって私たちに赦してくださるということに疑いをもつ私たちに赦してください。

イエス様の御名において。アーメン。

ラリー・カイン

カリフォルニア州 ヨバ シティ

5月5日(土)

イエス様がいつも見ている

聖書朗読 マタイ 10:17~31

神よ。私を探り、私の心を知ってください。私を調べ、私の思い煩いを知ってください。私のうちに傷のついた道があるか、ないかを見て、私をどこしえの道に導いてください。
詩篇 139:23~24

イエス様は彼を見つめ、その人をいつくしんで言われました。しかし、その裕福な人はイエス様の愛を見ることができませんでした。十戒を守っているという自信と、富による足かせがあるかぎり、彼は、自己を解放することによって得られるイエス様の愛を悟ることはできないでしょう。その裕福な人は、悲しみながら立ち去りました。

イエス様は、見回して、弟子たちに言われました。「裕福な者が神の国にはいることは、何とむずかしいことでしょう。らくだが針の穴を通るほうがもっとやさしい。」イエス様のことばにおどろいた弟子たちは互いにもらしました。「それでは、だれが、救われることができるのだろうか？」 彼らは「どんなことでも神にはできる」ということを見落としており、主の愛を確信していなかったのです。

私は、その裕福な人が主の言うことを聞いたときに、なぜすぐにそれを聞き入れて、自己を解放しなかったのかと不思議に思います。また、子どもたちが何度も主の奇跡を見なくても、信仰によりそれを信じることができなかつたのかと、驚きを感じます。聖書を読むたびに、私は彼らの鈍さに、ため息が出ます。

しかし、聖書は古代の歴史ではありません。誰かの目がいつも私を見えています。それは、生きているキリストの目です。彼は、裕福な人や弟子たちを見つめられたのと同じように、私を確かに見つめておられます。私はキリストに見られていると感ずります。問題なのは、私が裕福な人のように悲しみながら立ち去ったりしないか、また、神の国で永遠の命を受けるために、すべてを捨てることができるかなのです。

聖歌 144

祈り お父様。私を束縛しているものを捨てるようにと、あなたが呼びかけられるとき、私が背を向けて、あなたの愛からはなれずに、当然のこととしてそれに従うことができますように。そして、キリストにおいて、自分を真に自由にすることができますように。アーメン。

エルマー・プラウト

カリフォルニア州 ウッドランド

5月6日(日)

奇跡の成長

聖書朗読 コロサイ 1:3~8

キリストによって、からだ全体は、一つ一つの部分はその力量にふさわしく働く力により、また、備えられたあらゆる結び目によって、しっかりと組み合わされ、結び合わされ、成長して、愛のうちに建てられるのです。 エペソ 4:16

毎年、春になるとすることの一つに、植物への「青水やり」というのがあります。青い水というのは、「奇跡の成長の水」のことです。

ちょうど、水や栄養にかわく植物の根のように、私たちはイエス様の内に根づいています。私たちの強さや栄養は主からきます。イエス様こそが、私たちを強く健康に成長させることができる方です。というのは、神様お一人だけが私たちがどのように、そしてどこで育てばいいのか、最もよくご存知だからです。

主を信じる者の社会においては、教会が、成長のためにととても良い場所となります。私たちが誠実に各々の役割を務めるにつれ、神様は私たちにご自分の教会を与えられ、そして私たちが成熟するのを助けてくださるでしょう。神様は私たちの魂を育成するために必要なもの——生きた水——を知っておられます。もし、私たちが神様にお願ひすれば、それをくださるでしょう。神様は私たちの成長のために、理想的な環境に私たちを位置づけてくださるのです。

神様は、ご自分の内に希望をおく人々は強く成長するだろうと、その言葉によってお約束くださっています。ですから、人生のかんばつや日照りを怖がらないようにしましょう。主にあつて信頼しなさい。主は私たちが良いときにも、悪いときにも、私たちが成長するのを助けてくださるでしょう。

讃美歌 286

祈り お父様。私の魂に水をやり、育んでくださってありがとうございます。おかげで、私は成長し続けることができます。

W・スコット・ウッドリー

テネシー州 キングストン